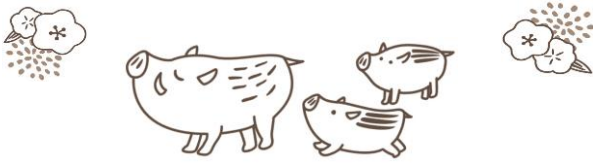


ガイヘル連協通信

NO. 18 平成31年1月発行

編集、発行 三重ガイドヘルパー連絡協議会



ご挨拶 会長 野呂 孝則

今年度から会長に就任しましたのでよろしく
お願いいたします。

昨年6月には「障がいの有無にかかわらず誰もが
共に暮らしやすい三重県づくり条例」が成立し
10月1日にその一部が施行されました。

スキルアップ研修会などに参加し、ガイドヘル
プの向上をはかり、利用される当事者からいかな
る場合でも柔軟に対応できるよう心がけたいも
のです。

皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

平成30年度活動報告

- 1) ガイヘル連協通信 No. 18 発行 1月
- 2) スキルアップ研修会の実施
- 3) あいふえすた三重2018(三重県視覚障害者
福祉大会)に参加
- 4) 三重県身体障害者福祉大会に協力
- 5) 三重県障がい者芸術文化祭に協力
- 6) ガイドヘルパーボランティア養成研修の検
討会に協力
- 7) 全国障害者スポーツ大会福井しあわせ元気
大会視察
- 8) ガイドヘルパーネットワーク事業への協力
- 9) その他福祉活動



☆平成30年度三重県障がい者芸術文化祭が
平成30年11月30日(金)・12月1日
(土)「ふるさと会館いが」に於いて開催さ
れました。障がいのある方が創りだした絵画
等の作品、音楽や演劇等のステージ発表があ
りました。来場された方からは、「毎年開催
されている障がい者芸術文化祭をもっと多
くの方に関心を持って観に来てもらいたい」
等多くの声を頂きました。

◇ガイドヘルパースキルアップ研修会◇

7月15日(日)、伊勢河崎商人館、伊勢河崎の
まちなみ散策に視覚障害者をガイドヘルパーが
介助しながら説明を行う研修会を開催しました。

伊勢河崎は、町を流れる勢田川の水運を利用し、
江戸時代には大きな問屋街へと発展。伊勢神宮へ
の参宮客で賑わう伊勢の台所としての役割を果
たしていました。現在でも軒を連ねた古い町屋や
商家の蔵、どこか懐かしい昔ながらの風情が感じ
られる街。駅で集合し散策しながら、河崎商人館
に行きました。

館長さんの説明で、江戸時代からの酒問屋を営
んできた小川商店の展示物や仕事の内容、建屋の
様子など詳細な説明を聞き館内を案内していただ
きました。視覚障害者をガイドヘルパーが介助
し、階段昇降、靴を脱いだり履いたり、今までと
は違う研修内容に苦戦しながらも楽しんで頂け
ました。

☆スキルアップ研修会に参加された方の声☆

多くの方から、初めての参加で楽しかった。介
助者に感謝。大変勉強になった。またぜひ参加し
たい。この企画は良い勉強になります。など参加
して良かったという意見を頂きました。印象に残
ったものをご紹介します。参考にしてください。
四日市市(視覚) / 昨年菰野に参加して、楽しか
ったので今回も楽しく過ごせると思いました。河
崎は、初めて来る場所です。全盲の自分には、足
の裏が気になった。天井の梁が低いので頭上や床
などの足元がやけに気になった。でも、それ以上
に楽しかったので次回も参加したい。
四日市市(介助) / 視覚の方が足元や頭を気にす
るのでよけいに注意を注いだ。今回は難しかった。
古い町並みが好きなので楽しかった。
桑名市(視覚) / 天井や足元に気を付けていたけ
どひっかけた。古い家屋は、歩きづらい。
多気町(介助) / 資料館の中や柱など感動した。
靴を脱ぐのは想定外で利用者の靴と他の靴と間

違えた。黒い靴にもいろいろあって気をつけなければいけない。難しいと感じた。

津市（介助）／状況説明が苦手なので、見守りながら勉強させてもらった。気をつける点が多くありました。

松阪市（介助）／階段の高さがあり、急な階段の昇り降り、靴を脱いで家屋を歩き回るのは、大変だったが、気をつけるべきところがたくさんあって良い経験になりました。誘導案内が難しかった。靴を履くときに、特徴を覚えていなかったので利用者の靴が分からなくなった。

鈴鹿市（視覚）／今回初めて参加してとても楽しかった。またこれからも参加したい。気楽に参加できるのが良かった。

最後に……

日本家屋など床や畳の部屋には敷居があり少し高くなっています。階段も急で一段一段が、高くなっている場合があります。「段差の伝え方」がきちんとできていなかったように思います。

「上り」なのか「下り」なのか、はっきり伝える。気軽に言えるように普段から心がけましょう。

また、靴を脱いだら、他の方と間違えないように置く場所や目印になる物をつける。または、洗濯バサミなどをつけ左右バラバラにならないように工夫をするのも良いでしょう。

手引きの基本を大事にして、その時々で臨機応変にできる事が重要です。いろいろな場面での気付きを学び手引きに役立ててください。



<伊勢河崎商人館>

◇第18回全国障害者スポーツ大会を見学して◇ 津市 鈴木猛雄

2018年10月13日～15日 福井県内にて『第18回全国障害者スポーツ大会』通称「福井しあわせ元気大会2018」が開催されました。

三重県からも多くの選手が参加され、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、優秀な成績を挙げられました。

10月15日早朝、津新町を出発し、近鉄・新幹線・特急と乗り継ぎ福井駅に着き、福井駅からシャトルバスに乗り、会場の福井運動公園に向かいました。

この日が最終日のため午前中で競技が終わりましたが、紐を用いて選手が伴走者と共に走り、競技では音や声で跳ぶ方向や投げる方向を知らせたり（その時は静粛にと放送あり）と初めてのことでびっくりしました。特に時々テレビで見かけますが、陸上競技用車いすのスピードには、その場にいなければ分からない迫力で、唯々感動しました。

また、「ビーンバック投げの競技を行っています」との放送があり、「乾いた大豆が入った袋」を投げる障害者スポーツならではの競技と聞き大変興味深く見学致しました。

応援団の声援の大きさにもビックリ、障がいの程度により、僅か数10センチの記録でも胸をはり、笑顔で堂々とした態度に感銘を受けました。

誰もがスポーツ観戦を楽しむために観客席には、聴覚に障害のある観戦者等への情報提供として、情報保障席が設けられていました。

2021年には三重県でも『第21回全国障害者スポーツ大会』通称「とこわか大会」が開催されます。ガイドヘルパーボランティアとして関わりたいこの大会を通じて、夢と感動、喜びと充実感を味わってください。全国のアスリートと共に貴重な体験をしましょう！



<情報保障席>



<陸上競技>

〔ガイドヘルパー連絡協議会役員・地域代表委員〕 (役員)

会長	野呂 孝則	(伊勢市)
副会長・会計	芳賀 豊子	(松阪市)
書記・監事	津田 みゆき	(松阪市)
事務局	清水 正	(津市)

(地域代表委員)

いなべ市	松宮 さとり	名張市	糠野 秀子
四日市市	前田 和子	伊勢市	的場 陽子
津市	鈴木 猛雄	鳥羽市	上野 氾い
鈴鹿市	石合 重毅	志摩市	森下 時子
伊賀市	山本 明美		

